

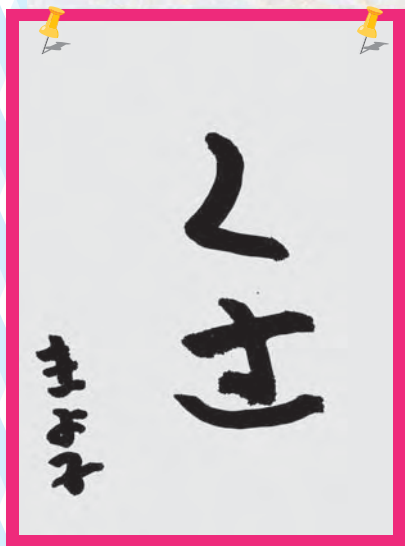
アート作品

様々なアート作品を紹介するコーナーです。今回はエデンの園で行われている「習字」を紹介します。

コーナー



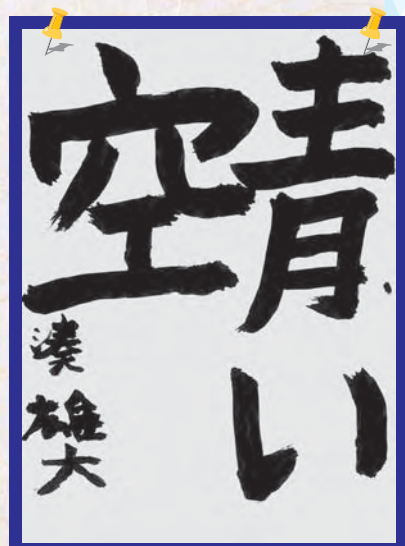
●三輪真誉 さん「くさ」に挑戦●



●落合きよ子 さん「くさ」●



●飯田郁子 さん「笹の葉」●



●湊 雄大 さん「青い空」●



●工藤健治 さん「前進」●



●湊 雄大 さん 笑顔で書道●



●三輪真誉 さん「野原」●

相談支援の窓から ～ 失敗する権利・挑戦する権利 ～

相談支援専門員 長友 真佐子

「自分は、ずっと施設で生活してきたから、まだまだ知らない事がいっぱいある。この国富でさえ知らない。いろいろな事を知る為にも、いろいろな経験をしたい」。ある利用者の言葉である。

先日、ある市町村から「Tさんは、65歳になられるので介護保険の申請をして下さい」と連絡が入った。市町村からの要請を受け、ご本人に意向を確認。介護保険の制度の説明、生活の変化など出来るだけ分かりやすく説明した。一応、申請を代行する許可、介護保険のサービスを利用したいという意向を確認出来た為、申請を行った。

昔の資料を見ると、8歳の時に学校に入学するも、発育不良で学校に入学できたのは21歳の時であったようだ。その際も、10分と立ってられない状態で、機能訓練も手遅れであったようだ。そのようなTさんは、約40年前に施設に入所。現在は、グループホームで生活されている。21歳まで、ラジオが友達で、自宅で過ごしていたTさん。その時期に必要な教育や療育を受けていない事に加え、視覚障害がある為、言葉での意向確認だけでは判断は難しいと思われた。しかし、Tさんは、新しいことに挑戦しようと思っていた。

今回、初めてのことにしても意欲的に利用の希望が確認できたが、このようなケースは、そうある事ではない。

私は、よくサービス等利用計画や障がい児支援利用援助計画に「さまざまな体験、経験を積み重ねる」という支援目標を立てる。もちろん、アセスメントの結果次第ではあるが・・・。不安を抱きながらも挑戦し、「良かった」と思う事もあれば「やめとけばよかった」と思う事もあるだろう。しかし、その経験こそが大事だと思う。自分の好きな事、楽しみを増やすだけでなく、苦手な事、嫌な事を知る機会にもなる。つまり、自分を知る事に繋がる。ご本人には、「挑戦する権利」もあれば、「失敗する権利」もある。今の生活がベストと思われる方、生活が変化することを不安に思われる方さまざまであるが、まずは挑戦してみることが必要だと日々感じている。経験のまだまだ少ない子供、不安が強くて新しい事に挑戦できない大人、本人は挑戦してみたいと思われていても、周りがストップをかける方・・・初めて何かする時には「不安」はつきものである。

あなたは、常に挑戦していますか？お子さんや兄弟姉妹の方からこの権利を奪っていませんか？

私たち、相談支援専門員も利用者に初めて経験をしていただく時には、良くも悪くも緊張する。しかし、いろいろな準備をする事は出来る。ご本人のペースに合わせることもできる。一番緊張し、不安を抱き、ワクワクするのはご本人である。私たちと一緒に緊張や不安を分け合い、ワクワクを共有し、挑戦し続ける人生を歩みませんか？

土曜学校メッセージ

金垣基牧師（宮崎めぐみ教会）、印慶子牧師（宮崎柳丸キリスト教会）
海老原直宏（宮崎北聖書キリスト教会）、荒平大輔牧師（宮崎北聖書キリスト教会）
浅野謙牧師（宮崎霧島キリスト教会）、山口英希牧師（宮崎清水教会）

寄贈品・寄附金ありがとうございます。

宮王丸郵便局様、大島たたみ店様、宮崎歯科福祉センター様、嶋原紀久様、黒木八郎様
佐藤律子様、長友幸浩様、寺田雄一様、片地フサ子様、中角聖子様、花島正晃様、上野弘一様
宮崎清水町教会有志様、宮崎清水町教会様、坂本美巴子様

ボランティア

井上ファミリーバンド様、家族会有志様



ひまわりの花が咲く開放感あふれる季節がやってきました。エデンの園各事業所ではどんなドラマが展開されていくのでしょうか、利用者様と一緒に過ごしながらいっしょに成長し助け合うそんな時間が過ごせるように職員一同切磋琢磨していきます。

谷口 博孝